

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入して

(1) 担当支部:	越後支部	(2) 記載者氏名:	遠藤家之進正和	会員番号:	8275	事務局整理記入欄	越後 - 1
分水嶺区分	E403巻機山～E402牛ヶ岳	(3) 山行日:	2004年	9月	18・19日	(4) 天候:	雨、曇り

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

加藤 明文	8058						
加藤紀代子	8382						
遠藤家之進正和	8275						
五十嵐義明	非会員						
計		4名				計	

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	清水～巻機山～米子頭山手前												
アプローチ:	清水桜坂まで自家用車												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	所要 時間	道の 状況	(8)～(11) 事項等
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	桜坂	巻機山											
分水嶺到達点	ニセ巻機山	巻機山						1,869		4:30			
	巻機山避難小屋	巻機山	138	57	38	36	58	17	1,813	0:10		(8)	
	割引分岐	巻機山	138	57	47	36	58	65	1,946	0:30			
E403	巻機山	巻機山	138	57	54	36	58	33	1,958	0:10		(8)	
E402	牛ヶ岳	巻機山	138	58	3	36	58	31		1:00		(9)	
												(9)	
分水嶺離別点	ニセ巻機山	巻機山						1,850		1:20			
歩行終了点	桜坂	巻機山								2:40			
											総歩行時間(休憩時間を除く):	9時間	
											総所要時間	12時間	

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

1. 巻機山避難小屋 改修中で完成予定平成16年11月末予定。
2. 巻機山標高点 確認でき。写真の測定杭は割引岳分岐寄りの位置

(9) 水および植生に関連した特記事項

3. 凹地の水溜りにイワイチョウ、ムシトリスミレ、モウセンゴケ、サワラン、ワタスゲ等。中性草原にハクサンシャクナゲ、ヨツバシオガマ、オヤマリンドウ、コイワカガミ、ミツバオオレン、ホソバキソチドリ、ハクサンチドリ等が見られる。

(10) その他の特記事項

朝日岳の縦走路は、チシマササの藪で道は不明の状況。したがって残雪期を除き難しく一般者の入山は無理と思われる。

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:
巻機山測量杭の現況
ニセ巻機山付近から米子頭山・朝日岳の縦走路を望む

山行報告書(続き)

表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。



巻機山測量杭の現況



二セ巻機山付近から米子頭山・朝日岳の縦走路を望む

ください。

2

名

)の特記
との関係
-1
-2
-3
-3
25分
100分

